

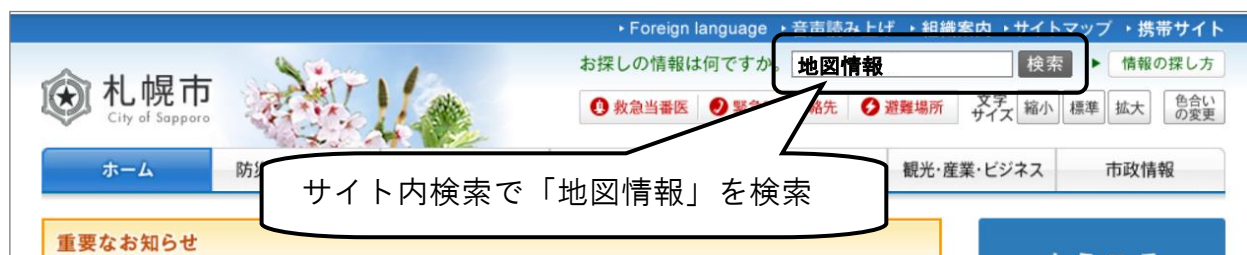
資料 該当区域の調べ方・様式のダウンロード方法・様式の記載例

(1) 該当区域の調べ方

- 札幌市地図情報サービス（札幌市の都市計画や景観の地区指定の情報をまとめたもの）から、敷地が「景観計画重点区域」や「景観まちづくり推進区域」に該当しているかを調べることができます。（「景観計画区域」は、札幌市全域に指定されています。）

【手順１】

- 札幌市公式ホームページのサイト内検索フォームに「地図情報」と入力し検索



【手順２】

- 検索結果の中から「札幌市地図情報サービス」をクリック



【手順３】

- 利用条件を読み、ページ中段の「同意」をクリックすると、「札幌市地図情報サービス」がご利用いただけます。



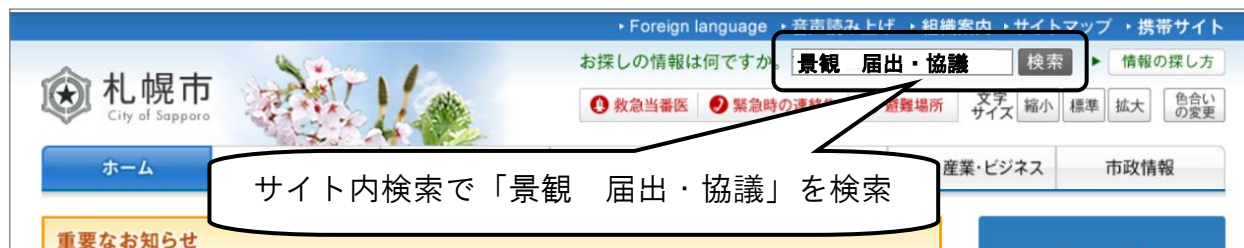
図 札幌市地図情報サービス

(2) 様式のダウンロード方法

- ・各種様式は、札幌市公式ホームページからダウンロードできます。

【手順1】

- ・札幌市公式ホームページのサイト内検索で「景観 届出・協議」を検索



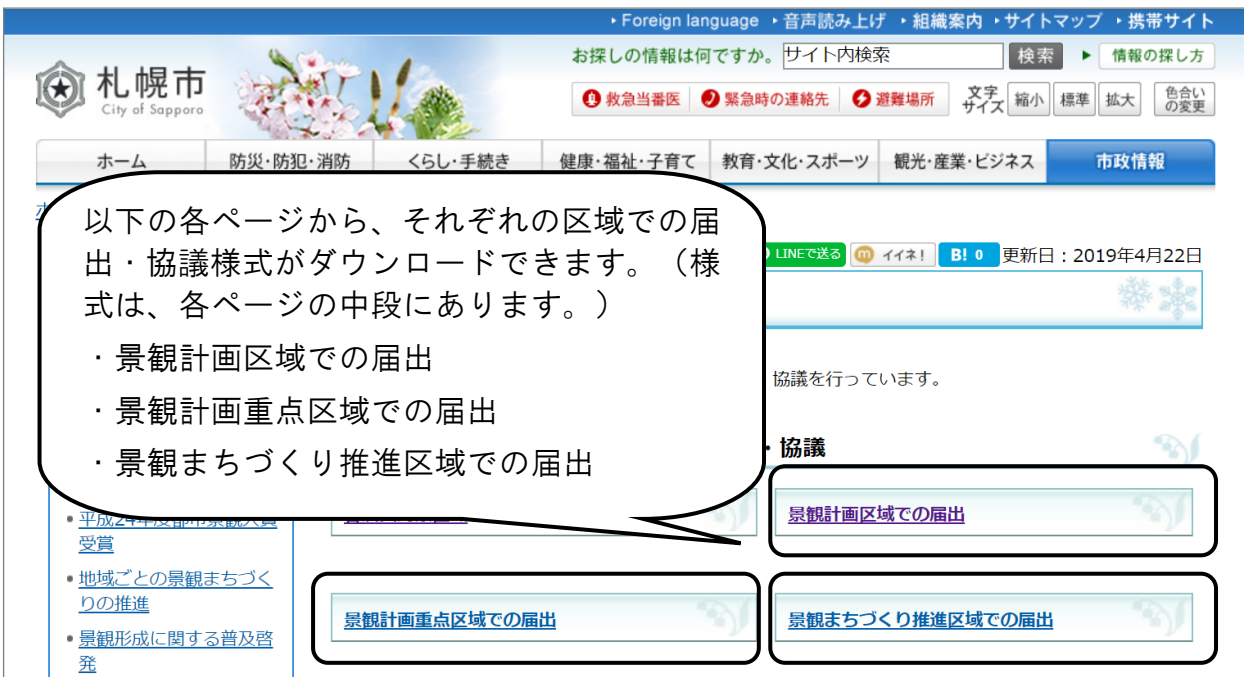
【手順2】

- ・検索結果の中から「届出・協議による景観誘導／札幌市」をクリック



【手順3】

- ・表示されたページからそれぞれの区域のページへ入ると、様式をダウンロードできます。



(3) 様式記入例

札幌市景観計画区域内行為事前協議書

様式 4

札幌市景観計画区域内行為事前協議書

〇〇年〇〇月〇〇日

あて先) 札幌市長

届出者 住 所札幌市〇〇区〇条〇〇丁目〇〇-〇〇
氏 名 〇〇 〇〇
〔 法人にあっては、主たる事務所の所在
地、名称及び代表者の氏名 〕
電 話 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

札幌市景観条例第 16 条第 1 項（札幌市景観条例第 42 条の 8 第 8 項において準用する場合を含む）の規定により下記のとおり協議したいので、申請します。

記

行 為 の 場 所	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇〇〇		
行 為 の 種 類	新築		
※1 設 計 予 定 者	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇〇号 株式会社 〇〇建築設計事務所 代表取締役社長 〇〇 〇〇 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇		
工 事 予 定 期 間	〇〇年 〇月 〇日 から 〇〇年 〇月 〇日		
行 為 の 概 要	別紙「自己診断カルテ」のとおり		
備 考			
※2 受 付	年	月 日	第 号

注 1 ※ 1 印の欄は、法人の場合には、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入してください。

2 ※ 2 印の欄は、記載しないでください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

札幌市景観計画区域内行為届出書

様式1の4

札幌市景観計画区域内行為届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 札幌市長

届出者 住 所 札幌市〇〇区〇条〇〇丁目〇〇-〇〇

氏 名 〇〇 〇〇

〔 法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名
電話 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〕

札幌市景観計画区域内における行為について、景観法第16条第1項の規定により、関係図面を添えて次のとおり届け出ます。

区 域 区 分	☐ 景 観 計 画 重 点 区 域						
	☒ 上記以外の景観計画区域	45m高度地区					
行 為 の 場 所		札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番					
※1 設 計 者	所 在 地 事 務 所 名 氏 名 電 話	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇〇号 株式会社 〇〇建築設計事務所 代表取締役社長 〇〇 〇〇 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇					
※1 監 理 者	所 在 地 事 務 所 名 氏 名 電 話	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇〇号 株式会社 〇〇建築設計事務所 代表取締役社長 〇〇 〇〇 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇					
※1 工 事 施 工 者	所 在 地 事 務 所 名 氏 名 電 話	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇〇号 株式会社 〇〇建設 代表取締役社長 〇〇 〇〇 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇					
行 為 の 期 間		着手予定日 〇〇年 〇〇月 〇〇日 完了予定日 〇〇年 〇〇月 〇〇日					
行 為 の 種 類 等	☐ 建築物	行 為 の 種 別	・新 築・増 築・改 築・移 転 ・外観の変更（・大規模な修繕・大規模な模様替・過半にわたる色彩の変更）				
		特定届出 対象行為	☒ 有（地区計画等の区域内における高度地区の高さの制限を超える建築）・無				
		用 途	ホテル	構 造	RC造	敷地面積	1,000.00㎡
		建築面積	800.00㎡ うち増築 80.00㎡※	延べ面積	10,200.00㎡ うち増築500㎡	壁面の長さ	52.1m うち増築20m
		高 さ	22.00 m	階 数	地上 7 階、地下 - 階		
		仕 上 げ	・材料（磁気質45丁掛タイル貼）・色彩（メイン：白樺、アクセント：馬鈴薯 近似色）				
	☐ 工作物	行 為 の 種 別	・新 設・増 築・改 築・移 転 ・外観の変更（・大規模な修繕・大規模な模様替・過半にわたる色彩の変更）				
		種 類			構 造		
		築造面積	㎡	高さ	m	延長（橋長）	m
		仕 上 げ	・材料（ ）・色彩（ ）				
☐ 木竹の伐採・植栽	行為の内容						
☐ 土地の形質の変更	行為の内容						
		※2受 付	年	月	日	第 号	

注 1 ※1印の欄は、法人の場合には、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入してください。

2 ※2印の欄は記載しないでください。

備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

※増築の場合、内数を記入してください。

様式 6

札幌市景観計画重点区域内除却等届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 札幌市長

届出者 住所 札幌市〇〇区〇条〇丁目〇ー〇
氏名 〇〇 〇〇
〔法人にあつては、主たる事務所の所在
地、名称及び代表者の氏名〕
電話 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

札幌市景観計画重点区域内において行おうとする行為について、札幌市景観条例第 24 条第 1 項の規定により、次のとおり関係図書を添えて届け出ます。

地 区 の 名 称	大通地区										
行 為 の 場 所	札幌市中央区大通〇丁目										
※1 設計者	所 在 地 名 事 務 所 電 話	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇〇号 株式会社 〇〇〇〇 代表取締役社長 〇〇 〇〇 0 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇									
※1 監理者	所 在 地 名 事 務 所 電 話	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇〇号 株式会社 〇〇〇〇 代表取締役社長 〇〇 〇〇 0 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇									
※1 工事施工者	所 在 地 名 事 務 所 電 話	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇〇号 株式会社 〇〇〇〇 代表取締役社長 〇〇 〇〇 0 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇									
工 事 予 定 期 間	着手 〇〇年〇〇月〇〇日 ～ 完了 〇〇年〇〇月〇〇日										
建 築 物 等	建 築 物	行為の種別									
		用 途						構 造			
		敷 地 面 積	m ²	建築面積	m ²	延 べ 面 積	m ²				
		階 数	地上 階、地下 階					外 材 料			
		高 さ	m					壁 色 彩			
	建 築 物 以 外 の 工 作 物	行為の種別									
		種 類						仕 材 料			
		構造、規模						上 色 彩			
	広 告 物 又 は 広 告 物 を 掲 出 す る 物 件	行為の種別									
		種 類	照 明	縦	横	面 数	基 数	面 積	材 料	色 彩	
1 壁面広告		有・無	1.0m	8.0m	1 面	1 基	8.0 m ²	アクリル	馬鈴薯 近似色		
2 突出広告		有・無	5.0m	0.5m	2 面	1 基	5.0 m ²	アルミ	馬鈴薯 近似色		
3		有・無	m	m	面	基	m ²				
※2 受付		年 月 日				第 号					

注 1 ※1印の欄は、法人の場合には、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入してください。

2 ※2印の欄は、記入しないください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

様式 2 4

札幌市景観まちづくり推進区域内行為届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 札幌市長

届出者 住 所 札幌市〇〇区〇条〇〇丁目〇-〇〇
氏 名 株式会社〇〇〇〇〇
代表取締役社長 〇〇 〇〇

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名)
電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

札幌市景観まちづくり推進区域内における行為について、札幌市景観条例第 4 2 条の 8 第 1 項の規定により、
関係図面を添えて次のとおり届け出ます。

地 区 の 名 称		〇〇〇〇〇〇地区					
行 為 の 場 所		札幌市〇〇区〇〇〇条〇〇丁目 〇〇-〇					
※1 設計者	所在地 事務所名 氏 名 電 話	札幌市〇〇区〇〇 〇条〇〇丁目〇-〇〇 〇〇ビル5 F 株式会社 〇〇〇デザイン 代表取締役社長 〇〇 〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇					
※1 監理者	所在地 事務所名 氏 名 電 話	札幌市〇〇区〇〇条〇〇丁目〇〇-〇〇 〇〇〇建設株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇〇 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇					
※1 工事 施工者	所在地 事務所名 氏 名 電 話	札幌市〇〇区〇〇条〇〇丁目〇〇-〇〇 〇〇〇建設株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇〇 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇					
行 為 の 期 間		着手予定日 〇〇年 〇〇月 〇〇日			完了予定日 〇〇年 〇〇月 〇〇日		
行為の 種類等	■ 建築物	行為の 種 別	・新 築・増 築・改 築・移 転 ・外観の変更 (・大規模な修繕・大規模な模様替・過半にわたる色彩の変更)				
		用 途	事務所 構 造 R C 造				
		敷地面積	200㎡	建築面積	80㎡	延べ面積	240㎡
		高 さ	13.00m	階 数	地上 3 階、地下 - 階		
		仕 上 げ	・材料 (磁器質45丁掛タイル貼り) ・色彩 (薄、白樺、馬鈴薯近似色)				
	□ 工作物	行為の 種 別	・新 設・増 築・改 築・移 転 ・外観の変更 (・大規模な修繕・大規模な模様替・過半にわたる色彩の変更)				
		種 類		規 模		構 造	
		仕 上 げ	・材料 () ・色彩 ()				
	□ 広 告 物	基 数	基	規 模	㎡	照 明	有・無
		仕 上 げ	・材料 () ・色彩 ()				
□ そ の 他	行為の内容				規 模		
		※2受 付	年 月 日			第 号	

注 1 ※1 印の欄は、法人の場合には、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入してください。
2 ※2 印の欄は記載しないでください。

備 考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

様式2

札幌市景観計画区域内行為変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先)札幌市長

届出者 住所 札幌市〇〇区〇条〇丁目〇ー〇

氏名 〇〇 〇〇

〔法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

電話 〇 1 1 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

札幌市景観計画区域内における行為の内容を変更しますので、景観法第16条第2項の規定により、関係図書を添えて次のとおり届け出ます。

行 為 の 場 所		札幌市中央区大通〇丁目		
当初の届出番号・届出日		第〇〇号 〇〇年〇〇月〇〇日		
変 更 事 項		配置・平面・立面・用途・面積・高さ・階数・ <u>外壁</u> ・ <u>植栽</u> ・ <u>外構</u> <u>工作物の構造</u> ・工作物の規模・工作物の仕上げ <u>その他</u> (看板)		
区 分		変 更 前	変 更 後 ※1	
行為の種類等	建築物	敷地面積		
		建築面積		
		延べ面積		
		壁面の長さ		
		高さ		
		仕上材		
		色彩	百合が原 近似色	霧氷、蝦夷島 近似色
	工作物	種類		
		構造	コンクリート塀	柵
		築造面積		
		高さ		
		延長（橋長）		
		仕上材		
		色彩	百合が原 近似色	生チョコ 近似色
	木竹の伐採・植栽			
土地の形質の変更				
その他の変更		無し	屋上・壁面広告物の設置	
※2受付		年 月 日	第 号	

注1 ※1印の変更後欄は、変更した事項のみ記入してください。

2 ※2印の欄は、記入しないでください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます。

様式7

札幌市景観計画重点区域内除却等変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 札幌市長

届出者 住所 札幌市〇〇区〇条〇丁目〇—〇

氏名 〇〇 〇〇

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名〕

電話 〇11-〇〇〇-〇〇〇〇

平成〇〇年〇月〇日付けで届け出た札幌市景観計画重点区域内における行為の内容を変更しますので、札幌市景観条例第24条第2項により、関係図書を添えて次のとおり届け出ます。

行 為 の 場 所		札幌市〇〇区〇条〇丁目〇—〇		
当初の届出番号・届出日		第〇〇号 〇〇年〇月〇日		
変 更 の 内 容		工作物の構造・工作物の規模・ <u>工作物の仕上げ</u> ・その他（色彩の変更）		
区 分		変更前	変更後 ※1	
行為の 種類等	工 作 物	種 類		
		規 模		
		構 造		
		仕 上 げ 材	アクリル板	アルミ複合版
		色 彩	雪虫、藍の里 近似色	白樺、団栗 近似色
除 却				
着手予定日又は完了予定日				
変 更 の 詳 細				
		※2 受付	年 月 日 第 号	

注1 ※1印の変更後欄は、変更した事項のみ記入してください。

2 ※2印の欄は、記入しないでください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

様式25

札幌市景観まちづくり推進区域内行為変更届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 札幌市長

届出者 住 所 札幌市〇〇区〇条〇〇丁目〇-〇〇

氏 名 株式会社〇〇〇〇〇

代表取締役社長 〇〇 〇〇

〔 法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名
電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 〕

札幌市景観まちづくり推進区域内における行為の内容を変更しますので、札幌市景観条例第42条の8第6項の規定により、関係図書を添えて次のとおり届け出ます。

行 為 の 場 所		札幌市〇〇区〇〇〇条〇〇丁目 〇〇-〇		
当初の届出番号・届出日		第〇〇号 〇〇年〇〇月〇〇日		
変 更 事 項		配置・平面・立面・用途・面積・高さ・階数・外壁・植栽・外構		
		工作物の構造・工作物の規模・工作物の仕上げ・広告物・その他 ()		
区分		変更前	変更後 ※1	
行為の 種類等	建築物	敷地面積		
		建築面積		
		延べ面積		
		高さ		
		仕上材		
		色 彩	薄近似色	札幌玉葱近似色
	工作物	種 類		
		規 模		
		構 造		
		仕上材		
		色 彩		
	広告物	規 模		
		仕上材		
		色 彩		
そ の 他 変 更		広告物：未定	広告物：壁面広告物を設置	
		※2 受付	年 月 日	第 号

注1 ※1印の変更後欄は、変更した事項のみ記入してください。

2 ※2印の欄は、記入しないでください。

備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

様式 8

記載事項変更届

(あて先) 札幌市長		〇〇年〇〇月〇〇日	
届出者又は通知者(行為を行おうとする者)			
(新) 住 所		札幌市〇区〇条〇丁目〇-〇	
氏 名		株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇	
電 話		(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	
(旧) 住 所		札幌市〇区〇条〇丁目〇-〇	
氏 名		株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇	
電 話		(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	
行為の場所	新	札幌市〇区〇条〇丁目〇-〇、〇-〇	
	旧	札幌市〇区〇条〇丁目〇-〇〇	
変更事項	☒ 届出者又は通知者の変更	上記のとおり	
	☒ 行為の場所の変更	上記のとおり	
変更理由	【届出者の変更】 ・〇月〇日付けの人事異動による変更 【行為の場所の】 ・合筆による変更		
		※ 1 受付	年 月 日

注 1 届出者又は通知者欄は、届出者又は通知者が変更となる場合は、変更前と変更後の両者について記入し、押印してください。また、法人の場合には、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入してください

注 3 ※ 1 印のある欄は記載しないでください。

備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

様式 9

景観計画区域内行為竣工届

(提出) 〇〇年 〇月 〇日

区 分	☐ 景観計画重点区域（地区の名称： ） ☐ 景観まちづくり推進区域（地区の名称： ） ☒ 上記以外の景観計画区域		
通知年月日・通知番号	〇〇年 〇〇月 〇〇日 第 〇〇 号		
しゅん工年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日		
※届出者の住所・氏名	札幌市〇〇区〇〇条〇〇丁目〇—〇 〇〇 〇〇		
※設計者の住所・氏名	札幌市〇〇区〇〇条〇〇丁目〇—〇 株式会社 〇〇建築設計事務所 代表取締役 〇〇 〇〇		
行 為 の 場 所 （ 建 物 の 名 称 ）	札幌市〇〇区〇〇条〇〇丁目〇—〇		
建築物（工作物）	☒ 新築・増築・改築・移転・除却・大規模修繕等・色彩変更・ その他（ ）		
屋 外 広 告 物	新設・移転・変更・ その他（ ）	種類	屋上・壁面・突出・地上・ その他（ ）
そ の 他			

しゅん工写真（北面・東面・南面・西面）



写 真 貼 付 欄

建物全体と敷地内の工作物や植栽等の状況が分かる写真を添付してください。写真貼付欄で収まらない場合は、別紙で添付してください。

景観ポイントを記入：

- ・敷地際に緑を配置し、街路樹と一体となった緑あふれる空間を創出した。
- ・外壁については、敷地周辺との調和や、落ち着いた色彩の使用に配慮するとともに、
- 低層部にガラスや入り口部分に地場の石を使用するなど素材感を大切にした。
- ・広告物は、一箇所にまとめ、建物と一体的なデザインを行うことで、建物の前面が乱雑にならないように配慮した。

注1 この書類は、本市の良好な景観形成の向上に役立てるため、公開することがあります。

2 ※の欄は、所有者が法人の場合には、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

自己診断カルテ

工事名称	(仮称)〇〇マンション新築工事			
カルテ記入者欄	会社名	株式会社〇〇		
	担当者名	〇〇 〇〇	連絡先	(〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

■提出書類:景観法に基づく届出を行う際に、下記の分類に応じて、必要なシートを提出してください。

- ① 各種共通で提出が必要…共通1～3
「1 計画地及び計画地周辺状況の把握と計画の概要」、 「2 計画地の景観形成方針の確認」
② 建築物の場合提出が必要…建築物1～6
「3 景観形成基準への適合に関する自己評価【建築物】」
③ 工作物の場合提出が必要…工作物1～4
「3 景観形成基準への適合に関する自己評価【工作物】」

1. 計画地及び計画地周辺状況の把握と計画の概要

計画地の土地利用制限や計画地周辺の状況、計画の概要・デザインコンセプト等について記入してください。

※ 〇の欄は選択式になっています。

計画地の場所	札幌市中央区北〇条西〇丁目〇番地			
景観計画重点区域等の区分	☐ 景観計画重点区域(地区)*			
	☐ 景観まちづくり推進区域(地区)*			
*これらの区域に該当した場合は、別途地区ごとのカルテも必要です。				
土地利用制限	用途地域	商業地域		その他地域地区 *防火地域、駐車場整備地区、日影規制区域、集合型居住誘導区域などを以下に記入してください。
	建ぺい率(%)	80		
	容積率(%)	600		防火地域 駐車場整備地区
	高度地区	45m高度地区		集合型居住誘導区域 都市機能誘導区域(都心)
地区計画				
特定届出対象行為		なし		
計画の概要	■ 建築物		□ 工作物	
	行為	新築	行為	
	用途	共同住宅、店舗	種類	
	構造	RC造一部SRC造	高さ ^{※2} (m)	
	敷地面積(㎡)	1,000.00	延長(橋長) ^{※2} (m)	
	建築面積(㎡)	500.00	築造面積 ^{※2} (㎡)	
	延べ面積(㎡)	5,800.00	□ 屋外広告物 *大通重点区域の広告物単体の届出時のみ	
	容積率(%)	580	行為の種類	
	建ぺい率(%)	50	広告の種類	
	高さ(m)	33.00	規模(Wm×Hm)	
	階数(階)	11	面積(㎡)	
	壁面の長さ ^{※1} (m)		面数(面)・基数(基)	
	※1:壁面の長さにより届出対象となった場合のみ記載してください。※2:届出対象となった要件に関する項目のみ記載してください。		□ その他	
			行為	
届出対象となった主な要件	18～33m高度地区以外の高度地区等で高さ31m超		概要	

*届出対象となった要件のうち、主なものを2つまで選択してください。

(1) 計画地周辺の状況

計画地周辺の状況について概要を記入してください。

大通公園に面し、周囲は高層の業務施設や商業施設が立地し、年間を通して賑わいが溢れている。

周辺の景観資源	■ 札幌市資料館、〇〇神社、ハルニレ
*計画地周辺に「景観重要建造物」、「札幌景観資産」、「活用促進景観資源」その他の景観資源があれば記入してください。	

(2) 計画の概要（※計画の状況に応じて、項目等を追加して記入してください。）

☐	既存樹	なし		
☒	既存の建築物・塀	H=2,000mmのコンクリート塀		
☒	植 栽	エントランス付近に植栽配置（H=1,000のドウダンツツジ、H=3,000のシンボルツリー）		
☒	駐車場	機械式駐車場を設置（24台収容）		
☒	屋外設備	屋上に空調設備をまとめて設置（パラペットで修景）		
☐	塀・柵	なし		
☒	ゴミ置き場、物置等	建物一体型		
☒	オープンスペース	エントランスポーチに併設		
☒	広告物・サイン	エントランスの壁に館銘板（配置図参照）、屋上部壁面にテナントサイン（南側立面図参照）		
☒	照 明	庭園灯、スポットライトを敷地内に設置（配置図参照）		
☒	外壁等の仕上げ	仕上げ材	色 名	色番号
	基調となる部分	吹付タイル仕上げ	新雪	A - 10 近似色
				- 近似色
				- 近似色
	アクセントとなる部分	二丁掛けタイル貼り	開拓使	F - 10 近似色
		御影石貼り	墨烏	G - 10 近似色
				- 近似色

*色彩は原則として札幌の景観色70色の色名でご記入ください。

上記以外の概要

☐		
☐		
☐		
☐		
☐		

(3) 景観デザインのコンセプト

計画施設の景観デザインのコンセプトについて、周辺景観との関係性なども含めて記入してください。

札幌を代表する大通公園のみどりの連続性を意識し、道路境界に植栽を設け沿道が潤いに満ちた空間となるよう計画した。エントランス付近には高さ3mのシンボルツリーを配置する。
 周辺はグレーやベージュなど、落ち着いた色彩の建物が多く建ち並ぶことから、外壁の色彩は無彩色を使用し、周辺の景観と調和するような計画とした。

2. 計画地の把握と景観形成の方針の確認

巻末の資料に記載の景観形成の方針（「全市的視点からの方針」と「地域的視点からの方針」）を参考に、計画地の特徴を把握するため、以下の項目を記入してください。計画の内容や場所に応じてそれぞれの景観形成の方針を重ね合わせて読み解いたうえで、計画内容の検討を行ってください。

地域的視点からの方針

計画地が以下の区域に該当する場合、その区域を選択し、その地区名を記入してください。

■ 該当なし

☐ 景観計画重点区域(地区)

☐ 景観まちづくり推進区域(地区)

全市的視点からの方針

(3) 人(暮らし)

計画地とその周辺の状況で、特に該当するものを以下より選択してください。

新築時のもとより、その後も適切な維持管理がなされ、時代を経て成熟していく質の高い景観形成を図ります。

(2) 都市

計画地とその周辺の市街地区分を選択してください。

都心

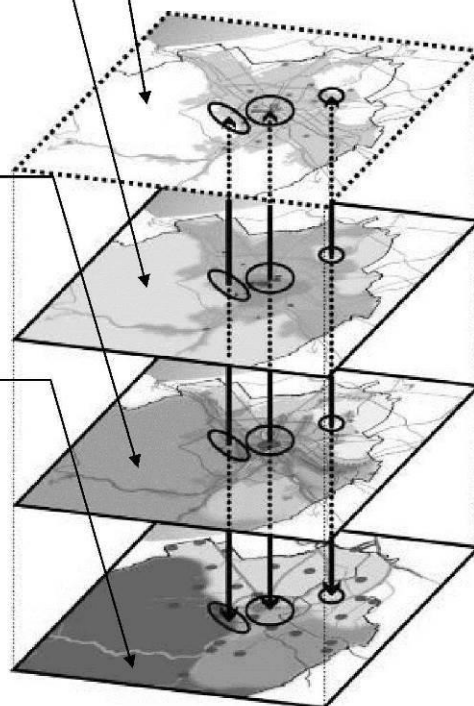
(3) 自然

計画地とその周辺の地形を選択してください。

扇状地

「水とみどり」の方針（別紙参考資料参照）のうち、特に該当するものを以下より選択してください。

札幌の植生やシンボルとなる樹木などを生かした景観形成を図ります。



3. 景観形成基準への適合に関する自己評価【建築物】

計画建築物について、景観形成基準に関して特に配慮した内容について記入してください。なお、配慮事例等のチェック項目に該当するものがある場合は、その項目をチェックすることで記入を省略することが可能です。そのうえで、自己評価欄に「◎（良く配慮できた）、○（配慮できた）、△（あまり配慮できなかった）、－（非該当）」を記入してください。なお、「△」を記入した場合は「その他配慮した内容」欄に、その理由や景観上の影響の有無、対処法、代替措置などについて記入してください。

青の枠内は記述する項目です。

【凡 例】

区分	配慮項目	特に配慮した内容
	自己評価:	☐ * 具体的に配慮した内容があればこの欄に記入してください。
区分	基本的視点	☐ 配慮事例等（該当する項目にチェックしてください。）
	誘導基準	☐
		☐
		その他 ☐ 上記の配慮事例等に該当するものがない場合、もしくは自己評価欄に△を記入した場合の理由などについて記入してください。

【遠景】

※遠景は、山並みや空等を背景とした眺めや、山や展望台など高いところからの眺めであり、明暗によって形態を認識できません。

A1	地形や水辺などの自然環境を生かす	特に配慮した内容 ☐
	自己評価: ☐	
	地形、植生、水辺・河川	☐ 地形を敷地計画に生かした。
	山地、丘陵地、扇状地、平地といった札幌の地形の特徴を尊重するとともに、それらの手がかりとなる植生、水辺・河川、微地形など地域固有の自然環境を景観の骨格として生かす。	☐ 土地の造成を最小限に抑えた。 ☒ 地域に親しまれてきた古木や既存林を生かした配置とした。 ☐ 小さな沢筋などを生かした。 ☒ 水辺を眺めるテラスやポケットパークなどを設けた。 ☐ 河川敷や対岸、橋等から見える街並みの連続性に配慮する。
A2	山並みやランドマークへの見通しに配慮する	特に配慮した内容 ☐
	自己評価: ☐	
	視点場からの見え方	想定した主な視点場や建物のファサードとして考えた面などを以下の欄に記入してください。（*必ずご記入ください。）
	市街地の背景となる山並みは、方向や広がりを確認でき、四季の彩を演出する重要な要素である。また、街並みのシンボルとなる建築物や樹木などのランドマークも、景観を特徴付ける貴重な要素である。そのため、これらを確認できる主要交差点、主要道路、主要河川等からの見通しに配慮する。	大通公園を主要な視点場としてとらえ、沿道に植栽を積極的に設け、低層の壁面には石貼の素材を用いることで、公園との繋がりに配慮した計画にまとめた。また外壁をみどりに映える白を基調とした色彩とすることで、さっぽろテレビ塔や石山通といった中景、遠景からの視点場も意識した計画とした。 ☒ 山の稜線を見通す視線を阻害しないように高層部の位置に配慮した。 ☒ 植栽を多く配置し山並みと調和を図った。 ☒ 視点場からの見え方や見通しなどに配慮した。 ☐ 街並みのシンボルとなる建築や樹木などのランドマークの見え方に配慮した。 ☐ その他

【中景】 ※中景は、街並みを構成する建築物や樹木等の色や形などが確認できます。

B1	歴史的・文化的なまちの景観資源等を生かし、質を高める	☐ 自己評価: ☐	特に配慮した内容
	歴史と文化、原風景、景観資源	☒	格子状街路の軸性や見通しに配慮した建築物の配置とした。
	歴史的建築物等や格子状街路・防風林など、歴史的なまちの遺構を尊重し、後世に札幌の歴史を伝える計画となるよう、配置や素材、色などを工夫する。また、歴史的価値に限らず、多くの市民が景観上優れていると感じているものや、シンボル性が高いものといった景観資源にも配慮して計画する。	☐	建築物や樹木など歴史的景観資源等に対して、建築物の配置や高さを工夫した。
		☐	建築物や樹木など歴史的景観資源等に対して、素材や形を調和させた。
B2	街並みとの連続感をつくる	☐	特に配慮した内容
	自己評価: ☒	☒	オープンスペースを配置し、大通公園とのみどりの連続性を意識して植栽を行い、歩道や大通公園との一体性に配慮した。
	低層部の軒高、壁面線、敷地際のしつらえ	☒	隣り合う建築物と低層部の軒高や仕上げ材、色彩などを揃えた。
	歩行者の視線レベルにある建築物の低層部において、隣り合う建築物の軒高や壁面の位置や素材、敷地際のしつらえに配慮し、街路樹及び歩道部と一体となった表情豊かで楽しく歩ける街並みをつくる。	☐	隣接する建築物と壁面線を揃えた。
		☒	敷地際にオープンスペースを設け、植栽やベンチなどを設置した。
		☐	敷地際のしつらえは歩きやすさや親しみやすさ、色や素材などを工夫した。 (オープンスペースガイドライン P19参考)
		☐	※具体的に工夫した内容をこの欄に記入してください。
		☐	その他
		☐	
		街角等、隣接敷地との関係付け	☒
	隣接敷地の公開空地や公園等のオープンスペース、交差点などに面する部分は、街並みの表情づくりのポイントであることから、オープンスペース、交差点、通りとの一体感に配慮した特徴ある街角等をつくる。	☐	オープンスペースを設けて街角を特徴付けた。
		☐	オープンスペースは、隣地の状況を確認した上で、使い方、形、しつらえなど連続性に配慮した。
		☐	※具体的に工夫した内容をこの欄に記入してください。
		☐	その他
		☐	
	オープンスペースのしつらえ	☒	みどりは、隣地のみどりととの連続性に配慮した。
	公開空地やブレイロット等のオープンスペースを設置する際には、みどりを効果的に配置し、使用者にやさしい仕上げとするとともに、建築デザインとの関係性や周囲の街並みとの調和に配慮する。	☒	みどりは、季節感を演出する植栽とした。
		☐	歩道と段差を設けず滑りにくい素材を用いた。
		☐	デザインは、建築物のデザインと調和させた。
		☐	質の高い素材を用いて上質なしつらえとした。
		☐	その他
		☐	

B3	歩行者の視点でのスケール感を大切に する	特に配慮した内容
	自己評価: ○	
	圧迫感の軽減、低層部の用途、 開口部の位置や大きさ 建築物の立面の分節化などにより、通 りに対するボリューム感の軽減を図る とともに、低層部の用途やしつらえ、開 口の位置や大きさに配慮することによ り、街並みを彩る沿道の景観を形成す る。	☐ ☒ 立面の分節化や建築物の分棟化によって圧迫感を抑えた。 ☒ 異なる仕上げを組み合わせることで面的なボリューム感を軽減した。 ☐ 壁面を後退させ、歩道への圧迫感を抑えた。 ☐ 店舗やカフェテラスなど賑わいが通りにあふれる用途を配置した。 ☐ 通りが閉鎖的にならないように開口部やショーウィンドウを配置した。 ☒ 通りに面する低層部は視界が抜けるようなガラス張りとし、圧迫感を軽減させた。 その他 ☐
B4	地域特性に配慮した色彩を考える	特に配慮した内容
	自己評価: ◎	
	外壁等の色彩、アクセントとなる色彩 建築物の立面の分節化などにより、通 りに対するボリューム感の軽減を図る とともに、低層部の用途やしつらえ、開 口の位置や大きさに配慮することによ り、街並みを彩る沿道の景観を形成す る。	周辺状況を読み解き、景観上どのような点を配慮したのか具体的に記入してくだ さい。 外壁の色彩: 周辺の街並みは白～グレー調の色彩が多く用いられているため、計画建物は新雪近似 色を基調とし、周辺と馴染むような色彩とした。 アクセントとなる色彩: 低層部分に開拓使近似色や墨烏近似色といった無彩色を使用し、隣接する建物との調 和に配慮するとともに、高層部分と低層部を異なる色彩とすることで圧迫感を抑えた。
		その他 ☐

【近景】 ※近景は、建築物の外壁の素材や樹木の葉の様子などが認識できます。

C1	意匠に配慮する		特に配慮した内容
	自己評価:	○	■ シンプルな建物のデザインとすることで、周辺の景観が移り変わったとしても、馴染むような意匠とした。
	ファサードデザイン、外壁の仕上げ		■ 華美な装飾を避けた。
	目新しさや話題性にデザインの原点を求めず、周囲の質感・素材感との調和を心がけるとともに、華美な装飾を避け、汚れが目立たない工夫を施すことなどにより、将来に渡って陳腐化しない持続可能なデザインとする。		□ 質が高く機能的で飽きのこないデザインとした。
			□ 一方向だけでなく他の角度からの見え方にも配慮した。
			□ 経年劣化により建築物の味わいが深まるような外観の仕上げとした（れんがや札幌軟石など）。
			■ 汚れが目立たない材料や、修繕しやすい材料を選定した。
			その他
			□
	照明		□ 魅力的な夜の街並みを演出した。
C2	暖かみのある光環境を基本とし、場所の特性に応じた照明による演出を行う。なお、激しく動光が変化するものや華美なものは原則として使用しない。		■ 暖かみのある照明で演出した。
			開口部から溢れる明かりで、通りのにぎわい感を演出した。
			□ ※上記3点について演出した具体的な内容をこの欄に記入してください。エントランス前に庭園灯を連続的に配置することで、アプローチの雰囲気演出するとともに、通りを明るく照らす効果を持たせている。
			□ 通りの防犯に配慮して外灯を配置した。
			■ 過度に明るいものは使用しない計画とした。
	雪に配慮する		■ 激しく動光が変化するものは使用しない計画とした。
			その他
			□
			特に配慮した内容
			□
	自己評価:	○	
	落雪等対策		■ 人の動線に雪庇や落雪が生じないよう屋根や外壁形状をデザインした。
	北風や落雪に配慮して、建築物の配置や形態、外壁形状等を考える。		□ 落雪の可能性がある窓の庇は熱線を施した。
			□ 吹き溜まりや風向きに配慮して出入口を配置した。
			その他
			□
	冬の快適性		■ 降り積もる雪の美しさを見ることができる仕掛けを施した。
	冬でも快適に暮らせるよう雪の堆積スペースを確保するほか、雪の美しさを見せることができる仕掛け等も検討する。		□ 低層部を雁木空間とした。
			□ エントランスに庇を設置した。
			□ 雪の堆積スペースを確保した。
			□ 道路側にロードヒーティングを設置した。
			その他
		■ 大通公園側に面するエントランスのロビーに大きな開口部を設け、四季を通して変化に富む公園の景色を楽しむことができる工夫を施した。	

C3	付帯工作物等に配慮する	特に配慮した内容
	自己評価: ○	
	屋外設備 通りなどからの見え方に配慮し、なるべく景観を阻害しない位置に設けるか、やむを得ない場合は目隠しを施す。	☒ 道路から見えにくい位置に設置した。 ☐ 植栽や柵などで目隠しした。 ☐ 建築物と同様の色彩や材質の仕上げとした。 ☐ 建築物に組み込んで一体化させた。 その他 ☐
	物置・柵等の工作物 自転車置き場やゴミ置き場、物置など敷地内に付帯する工作物は、建築デザインとの関係性を十分考慮し、建築物本体への取り込みを図るか、やむを得ない場合は歩行者に対して閉鎖的にならないよう配慮して、目隠し等による修景を行う。	☒ 歩道と敷地とが閉鎖的な関係にならないような柵のしつらえとした。 ☒ 植栽などによって目隠しした。 ☐ 自転車置き場やゴミ置き場などは建築物と同じ色彩や材質の仕上げとした。 その他 ☐
	外構に配慮する	特に配慮した内容
自己評価: ◎	☒ 機械式駐車場を周辺から見えないように柵で修景した。また、大通公園のみどりを意識し、道路境界に植栽を多く配置した。	
C4	ユニバーサルデザイン、アプローチのしつらえ 通りから建築物へ至るアプローチは、周辺景観に配慮したデザインとするとともに、段差を設けず滑りにくい素材を使うなど誰にでも使いやすいデザインとする。	☐ アプローチは段差をなくし、車椅子の交差できる幅員を確保する計画とした。 ☐ アプローチは建築物や外構のデザインと統一を図る計画とした。 その他 ☐
	駐車場等の修景 駐車場や業務用出入口等は、配置や敷地外との搬入出口に十分配慮し、通りに対する修景を図る。	☒ 駐車場の周りを緑化するなどして修景した。 ☐ 駐車場を、主な通りから見えないよう配置した。 その他 ☐
	みどりの演出 通りや広場、水辺、建築物の壁面などに対して、効果的なみどりの配置を図る。また、既存樹木との共生、四季の変化、地域の環境といった要素を考慮して、適切な樹種を選定する。	☒ 街路樹や公園、河川などのみどりと連続するように敷地内にみどりを配置した。 ☒ アイスストップとなる高木を配置するなど、効果的な植栽を図る計画とした。 その他 ☐

C5	広告物や案内表示などに配慮する 自己評価: ☐	特に配慮した内容 (館銘板、サイン等含む) ☐
	掲出の方法、色彩や照明、集合化 建築物のデザインや街並みとの調和はもとより、安全性や視認性にも配慮して、場所の特性に合わせた掲出の方法、色彩デザインや照明計画を考える。また、複数個表示する場合には集合化等を図る。なお、激しく動光が変化するものや華美なものは原則として使用しない。	周辺の建築物や広告物を読み解いて、街並みの魅力を引き立たせるデザインとした。 ☐ ※周辺環境をどのように読み解き計画に反映したのか、具体的な内容をこの欄に記入してください。
		☒ 箱文字や切り文字とした。
		☒ 表示面積を可能な限り小さくした。
		☐ 建築物と調和したシンプルなデザインとした。
		☐ 公共的なサインの機能を損なわないよう設置場所やデザインに配慮した。
		☐ 彩度を抑えた。
		☒ 使用する色の数 (色数) を抑えた。
		☒ コーポレートカラーの使用面積を抑えた。
		☐ コーポレートカラーの彩度や明度のトーンを落とした。
	☐ 過度に明るいものや、激しく動光が変化するものは使用しない計画とした。	
	☐ 昼間だけでなく夜間の見え方にも配慮して計画した。 ※具体的にどのように配慮して計画したのか、この欄に記入してください。	
	☒ 集合化を図った。	
	その他 ☐	
C6	景観の維持・管理に配慮する 自己評価: ☒	特に配慮した内容 ☒ 季節を通して様々な催しが行われる大通公園との連動性を意識し、休憩スペースやみどりの連続性に配慮したオープンスペースを設置した。
	オープンスペースの活用 公開空地やプレイロットを設置する際には、街並みに調和した活用がなされるよう、誰がどのように利用するかなどを考慮する。	オープンスペースが継続的に使われるよう、地域の特性を踏まえ、利用者の属性や使われ方など詳細に検証した。 ☐ ※検証した結果について具体的にこの欄に記入してください。
		オープンスペースの維持管理のため、地域住民が関与するマネジメントの仕組みを検討した。 ☒ ※検討したマネジメントの仕組みについて具体的にこの欄に記入してください。花壇の花植えやゴミ拾いを住民と管理人と協働で実施するよう提案した。
		その他 ☐
	維持・管理手法 新築時はもとより、将来に渡って景観の質が確保されるよう、維持・管理の体制やルール、役割分担等について事前に明確にする。	外壁改修の修繕計画や植栽の手入れなどの計画について、長期的な視点に立って事前に計画した。 ☒ ※具体的にこの欄に記入してください。エントランス付近に設置する植栽については管理人や入居者等と協働で管理するよう提案。
		広告物の更新時を見据え、掲出のルールを事前に明確にした。 ☒ ※具体的にこの欄に記入してください。低層部に入居するテナントについては壁面広告の大きさを統一する。
		その他 ☐

●法に基づく行為の制限

	配慮すべき項目		配慮した点
建築物	位置	建築物の壁面は、道路境界から後退させるとともに、その後退部分は、歩道と一体感をもったデザイン化や緑化等をすることにより、憩いというおいのあるオープンスペースを確保するよう努める。	・道と一体的な広がりのある空間をつくるため、大通に面した1階部分は壁面を後退させた。
		壁面後退は、低層部分では3メートル以上とするよう努めるとともに、1階部分のみ後退させる場合の軒高は、3メートル以上とする。	
	規模	小規模な敷地に計画する建築物は、隣接する建築物等との共同化を図るよう努める。	・隣接する敷地も併せて計画した。
	形態	1階部分には、ショーウィンドウ・カフェテラス・レストラン等のサービス施設を配置するなど、歩行者に快適さを与えるよう努めるとともに、休日や夜間の景観にも配慮する。	・1階に設けるカフェのにぎわいが通りににじみ出るように外装をガラスとし、夏期にはオープンカフェとして使用できるような仕様とした。 ・シャッターの設置はしない。
		シャッターを配置する場合には、ショーウィンドウの内側に配置するか、又はグリルシャッターを使用するよう努める。	
		車の出入口は、やむを得ない場合を除き、公園に面して設置しない。	
	外壁の色彩	公園や周辺の建築物との調和を図る。	・公園内の樹木を美しく見せるため、高層部は空に溶け込むように「白樺」近似色とする。 ・歩行者の目線に入る低層部にはレンガを使用し、あたたかみや落ち着いた印象を演出する。
		あたたかみのあるものとし、派手な色彩を大面積で使わないようにする。	
		なお、色彩は、別記「色彩景観基準」に準じて行う。	
	外壁の素材	汚れにくいものや変色しにくいものなど、美観を保持しやすい材質を使用する。	・低層部にはレンガ素材を用い、時間とともに味わいが出て、街並みになじむよう配慮した。
		道路から見える側面も、正面と同様の仕上げとする。	
建築物・屋上広告物以外の工作物	塔屋・屋上設備等	塔屋・屋上設備等は、道路から見えない位置に配置するよう努める。	・屋上設備は、道路から見えない位置に配置するとともに、目隠し壁で隠した。 ・目隠し壁は、外壁と同素材にし、一体的に見えるように配慮した。
		道路から見える位置に配置された屋上設備等は、壁面と調和したルーバー等で目かくしをする。	
	外構	道路に面したオープンスペースは、植栽を施すとともに、開放的なつくりとなるよう努める。	・壁面後退部分には、歩行者の動線を遮らないように植栽を設け、アプローチを演出するとともに、歩道に日陰をつくり、人が溜まる空間となるよう配慮した。 ・隣地との間に出来た隙間にフェンスを設けるが、建物と一体的に見えるように素材や色彩に配慮した。
		フェンスや石垣等の外柵類は、道路境界から後退させるとともに、その後退部分は緑化に努める。	
	駐車場	屋外駐車場は、道路側に植栽するなど、景観に配慮する。	・別棟では設置しない。
		車の出入口は、やむを得ない場合を除き、公園に面して設置しない。	
	その他	自動販売機類は、公園に面して設置しないよう努める。	・自動販売機は設置しない。

●景観条例に基づく行為の制限

	配慮すべき項目		配慮した点
屋外広告物	共通	原則として、ビルの名称を表示するなど、自家用に供するもののみとし、位置・規模・色彩等は、建築物全体のデザインと調和するよう配慮する。	・自家用広告物とする。 ・建物との調和、掲出する広告物同士の統一感が取れるように、使用する基調色をそろえた。 ・照明は外照式とし、照明器具は景観上支障ないように遮蔽した。
		発光を伴うものは、動光の変化をしないものとする。	
		色彩は、多色やけばけばしいものを使用しない。	
	屋上広告物	原則として、建築物1棟につき1カ所とする。	・屋上広告物は、新設しない。
		建築物と比べて極端に大きくならないよう、建築物との調和に十分配慮する。	
	壁面広告物	必要最小限の数・面積とし、建築物の形態や外壁の色彩等と調和のとれたものとする。	・外壁と調和するように配慮し、ビル名をチャンネル文字で掲出する。 ・催事に併せて広告物を窓面に掲出することも想定されるため、ガラス面を美しくみせながら掲出できるように、窓面内側に掲出するスペースを設置する。
		窓面広告物は、ショーウィンドウ内を除き、原則として表示しない。	
	突出広告物	敷地内にまとめて共同表示するよう努める。	・突出広告物は掲出しない。
		文字等の色彩は、派手なものを使用せず、基調となる色を統一するよう努める。	

ロープウェイ入口電停周辺地区

景観まちづくり推進区域

景観誘導区域

●景観形成方針

	景観形成方針	方針を踏まえ計画に反映した点
1	藻岩山の豊かな自然を大切にしたい景観まちづくり	敷地及び建物のエントランスが電車通りに面していることから、エントランスの周囲に積極的に植え込みを設け、みどり豊かな地域性に配慮した。
2	路面電車が走り、藻岩山への玄関口となる特性を生かした景観まちづくり	
3	“みどり”がにつながる景観まちづくり	
4	山鼻・伏見の成り立ちを尊重した景観まちづくり	
5	藻岩山を背景とした落ち着いた生活環境を守る景観まちづくり	

推 景観まちづくり推進区域の景観形成の基準

誘 景観誘導区域の景観形成の基準

●景観形成の基準

景観形成基準に関して特に配慮した内容を「配慮した点」の欄に記入してください。そのうえで、自己評価欄に「◎（良く配慮できた）、○（配慮できた）、△（あまり配慮できなかった）、－（非該当）」を記入してください。なお、「△」を記入した場合は「配慮した点」欄に、その理由や景観上の影響の有無、対処法、代替措置などについて記入してください。

	配慮すべき項目	自己評価欄	配慮した点
みどり	推 外構部分の緑化に努めましょう。	◎	敷地及び建物のエントランスが電車通りに面していることから、エントランスの周囲に積極的に植え込みを設け、花や樹木も季節感を演出するようなものを選定した。
	誘 通りに接する敷地部分は、隣地の植栽や街路樹等、周辺のみどりとの連続性に配慮するなど、効果的な緑化を行いましょう。	◎	
	誘 店舗など多くの人が集まるような場所では、主要な出入口へのアプローチなどに花やみどりによる演出を行いましょう。	—	
建築物・工作物	推 建築物等の色彩を選定する際は「地域のカラーパレット」から選定するよう努めましょう。	◎	地域のカラーパレットから基調色及びアクセント色を選定した。 ごみの収集は電車通り沿いから行うが、エントランス脇の奥まった位置にゴミ収納庫を設け、さらに目隠しの柵を設けることで歩道を歩く人からなるべく見えないよう配慮した。 共同住宅という性質上、住人のプライバシーを守る観点から滞留空間を設けることが難しかったが、代わりにエントランスの壁面に開口部を大きく設け、開放的な印象となるよう配慮した。
	誘 建築物等の色彩を選定する際は「地域のカラーパレット」から選定しましょう。また、部分的にアクセントカラーを用いる場合は「地域のカラーパレット」から選定しましょう。	◎	
	誘 建築物に付帯するごみ置き場は、周辺の歩道などからごみが見えにくい位置に設置するなどの工夫をしましょう。	○	
	誘 多くの人が集まるような店舗などの1階部分などは、建築物の形状を工夫するなど、歩行者を引き込むような滞留空間を設けましょう。また、それが困難な場合は開放的なデザインとしましょう。	○	
夜間景観	誘 通りに接する部分の外構等には、暖かみのある光源の屋外照明を設け、点灯するようにしましょう。	○	ガラス張りの開放的なエントランスから、歩道上に暖かみのある光が漏れるよう工夫した。また、エントランス脇の植え込みに庭園灯を設置し、夜間の通り沿いの演出にも配慮した。
	誘 屋外照明を設置する場合は、歩行空間の安全性の向上と夜間景観の演出をしましょう。	○	

配慮すべき項目		自己 評価欄	配慮した点
広 告 物 等	推 奨 広告物等を掲出する際には、多色や極端に華美な色彩を使用しないよう努めましょう。	○	エントランス脇の壁面にシンプルな金属製切文字の館銘板を1カ所設置した。
	誘 導 藻岩山の自然に配慮し、かつ、市電沿線の街並みの景観と調和したデザイン性が高いものとしましょう。	○	館銘板はステンレス製のヘアライン仕上げとし、シンプルで上質感のあるデザインとした。また、夜間でも文字が確認できるよう、電球色のブラケットを設置した。
	誘 導 位置・規模・色彩・配色等は、建築物の形態・外壁の色彩などや周囲の景観と調和するよう配慮しましょう。	○	
	誘 導 発光を伴うものは、動光等の変化をしないようにしましょう。	○	
	誘 導 色彩は、多色や極端に華美なものは使用しないよう、彩度や明度を抑えましょう。	○	
	誘 導 コーポレートカラーなどで、鮮やかな色彩を用いる場合は、使用面積を抑えるなどの工夫をしましょう。	—	
	誘 導 複数の看板の設置が想定される場合は、できるだけ1か所に集合化を図りましょう。	◎	
	誘 導 屋上広告物については、藻岩山への眺望に配慮し、屋上にはできるだけ設置しないようにしましょう。	—	
	誘 導 窓等のガラス面に掲出する広告物等は街並みとの調和に配慮しましょう。	—	

札幌市まちづくり政策局都市計画部地域計画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

tel. 011-211-2545 fax. 011-218-5113

eメール：keikan@city.sapporo.jp

ホームページ：https://www.city.sapporo.jp/keikaku/keikan/



さっぽろ市
01-B03-22-828
R4-1-72